宮崎県埋蔵文化財センター

上平（うえんでら）遺跡　発掘通信

vol.01
令和2年　8月号

山之口で発掘調査をしています

こんにちは！
現在、宮崎県埋蔵文化財センターでは、上平（うえんでら）遺跡の発掘調査を行っています。
上平遺跡は山之口運動公園の北側にあり、新陸上競技場の建設予定地にある遺跡です。前回紹介した花木池平遺跡と同じく、3月から山之口で遺跡の発掘調査を行っています。
むかし山之口に住んでいた人々の暮らしについて少しずつ分かってきたので、ご紹介いたします！

土を掘っていくと周りの土とはちがったところが見つかりました。よくよく見ると、道具も見えます。

左の写真は…**古墳時代のお墓**です。今から約1400から1500年前のお墓で、中から鉄剣や鉄のやじりが見つかりました。

むかしの人は、お墓の中にその人が身に付けていた道具などを副葬品（ふくそうひん）として一緒に埋葬（まいそう）することがありました。

上平遺跡では、古墳時代のお墓があわせて2つ見つかりました。

2つ目のお墓は、南九州でよく見られる地下式横穴墓（ちかしきよこあなぼ）というお墓でした。〔右の写真〕
地下に穴を掘ってつくられるこのお墓、山之口で見つかったのは初めてです！山之口の歴史に残る大発見となりました！
お墓の中からは、女性と思われる人骨と全長約96cmもある刀が見つかりました。
なぜこの女性はお墓に埋葬（まいそう）されたのだろう？どうして刀を持っていたのかな？
考えていくと、ワクワクしますね！

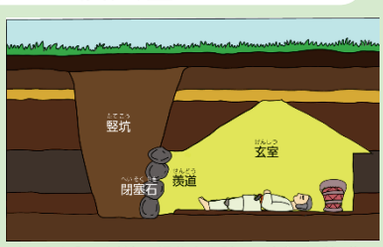
※　この地下式横穴墓の空どう部分は後の時代にくずれてしまったようです。

上平遺跡は現在も発掘調査中です。調査は12月末までを予定しています。
現在は、主に縄文時代の生活のあと（遺構）や道具（遺物）を発掘しています。
これからも、調査の最新情報をお届けします。
お楽しみに！

Check！

地下式横穴墓（ちかしきよこあなぼ）

地面からまっすぐ下へ穴（竪坑）を掘り、穴の底からさらに横へ穴（せん道）を掘って、さらに横へ穴（玄室）をつくる形のお墓。
宮崎県内では多数見つかっている。



宮崎県埋蔵文化財センター発行「みやざきの埋蔵文化財ハンドブック（第3集）」より